

平成 28 年度

豊 明 市 児 童 館 運 営 委 員 会 議 事 録

日時 平成 28 年 7 月 7 日 (木)

午後 1 時 30 分 ～

場所 市役所分庁舎 会議室 2

※敬称略

出席委員：坂井、上村、青山、山田、服部、丸山

事務局：児童福祉課長 加藤、コスモス児童館長 亀井、児童係 加藤、栗田

1 挨拶 児童福祉課長 加藤。

2 委嘱状交付 一部委員が役職の異動により交代。

3 委員長選出 大宮小学校 坂井校長を選出。

4 議 題

(1) 平成 27・28 年児童館指定管理の状況について

事務局より説明。

質疑・意見等

(委員) 委託する理由は？

(事務局) 民間のノウハウを活用できる。また、保育士不足解消の一助となる。

(委員) メリットは？

(事務局) 児童館は指定管理にて業者を選定。児童館内にある児童クラブは指定管理業者に委託した。3 小学校内にある児童クラブは業務委託として業者を選定。この 3 小学校は生涯学習課所管の放課後子ども教室についても同じ業者へ委託し、児童クラブと放課後子ども教室の一体化事業として 28 年度より実施している。

直営から指定管理、業務委託になったことで、市で非常勤職員として雇用されていた職員が館長として雇用されたり、本人の希望に添って、引継ぎ雇用されている。市の正職の person 費が高かったため、費用の削減も多少できているが、福祉事業においてあまりの削減も問題だと考えている。

指定管理は自由裁量が持てるので、独自の遊びのプログラムを展開してもらえる。今後新規事業を計画していると聞いている。

(委員) 期間の決まりはあるのか？

(事務局) 全国的にも指定管理者制度では1・2年という短い指定期間はなく、おおよそ5年が最低ラインであったことから、平成27年度に児童館に指定管理を導入した際には5年間の指定期間にした。平成28年度から新たに指定管理にしたところとは、始めに指定した館と終了時期を合わせたため、4年間の指定期間とした。

(委員) 引継ぎ雇用された職員が多いので、混乱なく運営されていると思う。新規事業等はいつから実施するのか聞いたら、1年間は現状の引継ぎに重点を置いていく予定であるとのことであった。

(2) 平成27年度児童館運営報告について

(3) 平成28年度児童館活動計画について

事務局より説明。

質疑・意見等

(委員) 北部児童クラブ・双峰児童クラブ・唐竹児童クラブが放課後子ども教室と一体化になったのはとてもよいことだと思う。

(委員) 家庭で夏休みを過ごしている子に比べ、保護者が就労のため夏休み期間中も児童クラブに預けられている子ども達が楽しく過ごせるための長期休暇中のデイリー

プログラムはあるのか？

(事務局) 長い育成時間を楽しく過ごせるよう、デイリーを考えている。プールを利用したり、宿題を持ってくる子もいるし、たくさん遊びを提供し、子ども達が選んで遊べるようにしている。

(事務局) これまでより質の低下のないよう、変わらない児童館運営を念頭に置いて、ここ2年指定管理を導入してきたが、委員の方々に何か大きく変化を感じられている委員の方は見えるか？

(委員) 大きな変化は感じられず、今後は自主事業もやってくれると思う。ブラックボックスにさせないためにも第3者が関わっていくことが必要だと思う。

(委員) 豊子連の4年生以上のボランティア活動とコラボレーションするのもいいのでは。会員の取り合いではなく豊明市の子ども全体としてみていくことが大切。

(委員) 児童クラブの受け入れは3年生までではなく、4年生以上も入れて欲しい。

(事務局) 4年生以上も定員的に受け入れ可能なクラブでは受け入れを実施している。児童クラブに入れなかった児童には、保護者が一番不安を感じる4年生の春休みから利用可能なランチタイム事業も実施している。

(委員) 大宮児童館の高齢者との交流事業「いきいき体操」の実績数が他事業に比べて突出して多いが理由は？

(事務局) 他の実績数は年1回開催のものだが、いきいき体操は毎月開催の延べ数なので、実績数が多くなっている。

(委員) 指定管理を導入すると聞いた時はコストダウンをねらうだけだったり、連携が不十分だったりするのではないかと不安だったが、学校との情報交換でも子ども達のことをよく理解して、情報共有できているので、安心している。また、職員が引き継ぎ雇用のため、指定管理になったことはあまり感じず、上手にスタートしてもら

っているので、継続して行ってほしい。

(委員) こどもわくわくニュースを生涯学習課から市内の子ども対象に発行しているので、それも利用して児童館の情報発信していくのも方法ではないか。

(4) その他

なし

以上